福岡大学防犯ボランティアななくま元気にするっ隊(福岡県)

福岡大学から参りました学生防犯 ボランティアななくま元気にするっ 隊と申します。私は代表をしており ます福岡大学法学部法律学科3年、 西村と申します。

工学部機械工学科3年の田中と申します。



人文学部教育・臨床心理学科1年生の野田です。よろしくお願いいたします。

活動地域の紹介

ではまず初めに、私たちの活動地域である福岡県福岡市について紹介していきたいと思います。福岡県は九州の北部に位置しており、山あり海あり、とても住みやすい町です。住みやすい町と親しまれているのも、都市から空港までが地下鉄で約10分という近さです。また、博多から韓国の釜山まではフェリーで3時間という距離。このような交通の便が良いということや、アジア大陸に最も近く昔から外国との交流が盛んであったという背景から、外国人の観光客が非常に多いです。外国人が気軽に足を運べる地、そこが福岡県だと思っています。つまり、福岡県は、ビジネス面でも、観光面でも、アジアを代表する都市の1つです。





私たちの実感としてはこのような感じですが、皆さんは福岡と言えばどのようなイメージをお持ちでしょうか。最近で言えばソフトバンクホークスの3年ぶりの優勝ですね。福岡のデパートや商店街、スーパーでも優勝セールで盛り上がっています。





皆さんが一番イメージするのは、食のバラエティの豊かさでしょうか。例えば博多ラーメン、もつ鍋、明太子、水炊き、これからの季節にとてもぴったりです。また、海が近いため、新鮮な魚介類も豊富です。そして、福岡の夜と言えば屋台。また文化や伝統も根強く、博多どんたくや山笠などとても人情味溢れる町です。良かとこなので、ぜひ皆さん、お越しください。

団体概要

次は、私たちの大学である福岡大学について紹介したいと思います。私たちの大学は全学生数が2万人を超え、9つの学部34の学科で成り立っており、

西日本有数の総合大学です。2012年7月には新中央図書館が設立し、日本有数の規模と先進性を備えております。キャンパスも改修工事が進み、学生が過ごしやすく、より学習に臨みやすい環境づくりが整えられております。

次は、私たちの団体である「ななくま元気にするっ 隊」について紹介します。警察庁が、若い世代の防犯



ボランティア支援事業が始めたことをきっかけに、平成22年6月に発足しました。福岡大学の学生のみを中心とした若い世代と、地域ボランティアとの協働により防犯活動の促進を図り、さらに安全・安心な社会にすべく日々活動に励んでおります。団体名の「ななくま元気にするっ隊」と言うのは、私たちの団体の地名である福岡市城南区の七隈を用い、「ななくま元気にするっ隊」としました。この「隊」には、博多弁の「~たい」という方言も掛けています。

現在の隊員数は 60 人ほどです。団体運営は代表の私をはじめ、副代表兼会計をしてくれている田中君、次世代を担うであろう2年生を中心に運営しております。活動の連絡はメールで行い、参加する人は返信をするというシステムを取っています。また、入学シーズンには歓迎イベントとして大学内にブースを設け、一人でも多くの学生に興味を持ってもらおうと努力しております。

いま出てきたこのクマは、私たちのマスコットキャラクターである、「ななくまん」と言います。「な

なくまん」は、私たちの団体を皆さんにより印象付ける ために制作しました。キャラクターのポイントは正義感 漂うマント、りりしい眉毛に、七隈の地名にちなんで 7 のマークを入れました。耳の FU は Fukuoka University の略です。



活動(事業)内容・特長

次は、活動内容について紹介します。ここに挙げたのは代表的な活動ですが、ほかにも大学周辺の地域の方との意見交流の場としてのワークショップ、防犯カメラの設置式典、福岡大学の学生と地域の方との合同避難訓練のリーダーを任せられたり、多方面で活躍しています。そこで、私たちの活動風景を動画にまとめてみましたので、まずはそちらをご覧ください。

(動画)

皆さん、いかがでしたか。このような感じで私たちは 毎回楽しく活動しています。

活動内容

- · 地域清掃活動
- ・天神、大名落書き消し
- ・夜間防犯パトロール
- ・ 街頭犯罪抑止キャンペーン
- ・ブログを活用した広報
- ・他大学との交流
- ・防犯教室
- ニセ電話詐欺抑止の動画制作



次は、活動内容について紹介していきたいと思います。まずは地域清掃活動です。地域清掃活動は毎月第2土曜日午前10時から開始しております。活動場所は福岡大学周辺の地域です。回るコースは毎月異なります。日常生活している中で、ここはごみが多いな、荒れているなと思ったところをコースにしています。また、活動していると町がきれいになるだけではなく、地域の方と挨拶を交わしたり、立ち話をしたり、私たちの知ることのない地域の実情を知ることができ、地域の現状を見直すきっかけともなっております。





次は、天神・大名落書き消しです。この活動は毎月第1日曜日の午前中に開催されます。九州一の 繁華街である天神の大名地区での落書き消し、ステッカー剥がし、ごみ拾いをして町をきれいにして います。地域の住民、企業、行政機関の方々も参加し、地域との交流も図っています。

次は、街頭犯罪抑止キャンペーンです。この活動は不定期に行っています。性犯罪抑止キャンペーンは、発生しやすい季節の夏に合わせて行っており、女性や子供に呼び掛けながら啓発グッズを配布します。福大周辺では、二輪車盗難が特に目立ちます。そこで、大学近くの交差点で呼び掛けとともに、二重ロックのための施錠を配布しております。そして、警察と県の人とのつながりもできます。これは、私たちが自転車盗難に関する呼び掛けとして作ったプラカードを、福岡県警のマスコットキャラクターである「ふっけい君」が持っています。





次は、ブログを活用した広報です。私たちの活動を ほかの人に知ってもらうために、活動実施後にブログ を更新しています。また近年はネット社会ということ で、ネットを発端とする事件も多発しています。ネッ トの情報というのは何が正しくて何が誤っているのか、 自分で判断しないといけません。その判断を誤らない ためにも、自分から危険な目に遭うような行動をしな いためにも、情報提供が必要だと思っています。そこ で、警察の方からの要請により、サイバー犯罪に関す る情報を公開しています。

次は、他大学との交流です。去年9月に京都研修を行いました。研修先は、京都学生防犯ボランティアのロックモンキーズさんにお世話になりました。皆さんの中にもご存じの方もいらっしゃると思

います。ロックモンキーズは全国的に学生防犯ボランティアとして有名で、活動に対するバックアップも非常に厚いです。そして、活動も京都ならではのお祭りで活躍したり、うまく文化と溶け込むような活動の特徴があります。

この研修の目的は、新しい活動を展開していくためには、新しい知識を学ぶことが必要だと思ったからです。そして実際に会うことにより学生間の交流もでき、活動を体験させていただく機会にも恵まれました。研

他大学との交流

~京都研修~

目的

京都学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」 と交流し、新しい活動をしていくために必要な知 識を身につけるため。

研修内容

•意見交換

防犯寸劇



修に行く前は学生同士で連絡を取り合い、スケジュールを決定し、事前に質問事項をまとめ、研修の際に意見交換会を実施しました。そして、京都の紫竹小学校の夏祭りでの防犯寸劇にも参加しました。私たちの出番も用意していただき、身を持って防犯教室とはこのようなものなのかというのが体験でき、いまの私たちの活動に非常に役立っております。この研修は、私たちの活動のターニングポイントとなりました。



次は、ACT (アクト)です。これは同世代との連携を深め、お互いに高め合うことを目的として平成23年6月に、福岡市学生防犯ボランティア連盟「ACT」が発足しました。これは3大学1専門学校の

ほか、個人で活動したいという人のための団体です。 ACTとは Arch of college Team の略称で、学校間の つながりという意味を持ちます。

次は、学生防犯ボランティアサミットです。これは去年の12月に開催されました。警察主催で毎年行われているイベントです。福岡県、佐賀県の10大学の学生防犯ボランティアが参加しました。ワークショップでは各団体の現状、課題を共有し、解決策を考えました。サミット宣言では、各団体がサミット

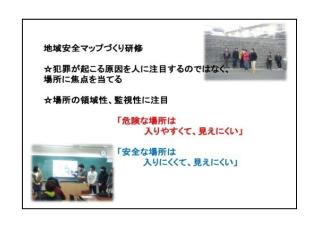
~ACT~

同世代との連携を深め、お互いに高め合うことを目的に平成23年6月に福岡市学生防犯ボランティア連盟「ACT」が発足。

ACTとは[Arch of College Team]の略称で学校間のつながりという意味。

中に得た情報や考え方等をもとに今後の活動方針をまとめ発表しました。このサミットは学生間の交流を深め、良い励みになり、これからの活動に対するモチベーションも上がるイベントでした。





次は、地域安全マップづくり研修です。これは九州国際大学の山本啓一教授および、同教授ゼミ生を講師として招きました。犯罪の発生原因を人ではなく場所に注目する環境犯罪学について学びました。座学後は大学周辺にてフィールドワーク、写真撮影やインタビューを行い、その後、得られた情報を基に地域安全マップを作成し、発表を行いました。発表時には危険な場所と安全な場所を挙げ、その判断理由を説明しました。

次は、防犯教室についてです。この防犯教室は、私たちが去年から力を入れて取り組んでいる活動です。市役所の方に協力をしてもらい、大学周辺の小学校の学童におけるアンケート調査を実施し、そのアンケートの回答をもとに、直接連絡を取って実現します。いままで計6回、保育園や私たちの大学の周辺に位置する小学校を中心に実施しました。私たちの学校の授業との兼ね合いもあり、小学校の放課後や長期休暇に行いました。



児童の人数は多いときで 100 人、平均して 40 人から 50 人です。内容は犯罪に巻き込まれないように自分を守る掟としての防犯寸劇、もう1つは安全な場所と危険な場所についての紙芝居です。子供たちに楽しく身に付けてもらうために、身近な例を交えクイズをします。活動後は子供たちからの質問コーナーがあります。まだまだ防犯知識の足りなさを痛感する点も多いです。

防犯知識を忘れないようにする工夫として、私たちは

ファイル、鉛筆を制作しました。防犯教室をその場限りで終わらせるのではなく、家の人と共有し、 復習して忘れないようにする仕組みが必要だと思ったからです。

次は、二セ電話詐欺被害防止の動画制作です。高齢者の方が電話で被害に遭うことを、福岡では二

セ電話詐欺と言います。全国的にご高齢の方が狙われる 詐欺が増えています。孫世代となる私たちも何か力にな れることはないかということで、二セ電話詐欺(特殊詐 欺)被害防止のための広報動画を警察の方にアドバイス をもらい、制作しました。この動画は銀行や病院、スー パー、ボウリング場、空港などで流されています。では、 その動画をご覧ください。

★防犯教室★

① 11月18日

福岡市城南区 別府「きりん幼稚園」
② 3月10日

〜 37.10日 福岡市早良区 藤崎 「ふたば保育園」

③ 6月17日

福岡市城南区 片江小学校

④ 8月8日 福岡市城南区 金山小学校

⑤ 8月19日 福岡市城南区 鳥飼小学校

⑥ 9月2日

福岡市早良区 賀茂小学校







··二セ電話詐欺抑止の動画制作<

全国的に御高齢の方が狙われる詐欺が増えて いる。

孫世代になる私たちも何か力になれることはないかと考え、二セ電話詐欺(特殊詐欺)被害防止のための広報動画を制作をした。

動画は・・





(動画開始)

被害者 (電話コール音)もしもし。

犯人 急いでお金を払わないと大変なことになりますよ。

被害者す、すぐにお金を払います。

ナレーター (笛の音) その支払いちょっと待って。ニセ電話詐欺に要注意! レターパックや宅配便で現金を送れはすべて詐欺です。「現金を送れ」「レターパック」「逮捕される」「裁判になる」、こ

んな電話は全て詐欺、家族でよく話し合い、家族の財産は家族で守ろう。

女の子 帰ったら、おじいちゃん、おばあちゃんに 電話しようっと。

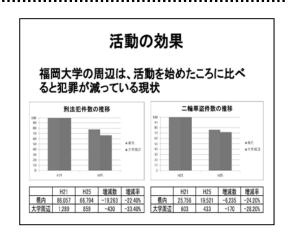
(動画終了)

西村 この動画が、これからも広まっていくことが 期待されています。



活動効果

次は、活動の効果についてです。グラフではわかり づらいと思いますが、福岡大学の周辺は活動を始めた ころに比べると犯罪が減っている状況です。これは警 察の方から聞いております。



今後の課題

最後に、私たちの今後の課題について4つ発表したいと思います。1つ目は学内における自転車盗難防止の取り組みです。犯罪は統計的には減少していますが、これは犯罪の多かった時期に比べてという結果に過ぎません。実際私たちの周りが安全・安心になったという実感とデータが直接結び付かないところもあります。特に学内における二輪車盗難が目立ちます。盗む側が悪いのですが、自転車を所有している側の管理不行き届きというのにも原因があると思います。盗難被害に遭う自転車の8割から9割が無施錠という現実です。どうにか防げる被害に遭わないよう注意喚起する必要があると思います。そこで学内の駐輪場を巡回して、無施錠の自転車にタグを付けて警告するという取り組みをしたいと思っています。まずは学内からそういう状況をなくしていくことが、私たちの使命だと思っています。

2つ目が、防犯教室を実践型にということです。防犯知識を子供たちに学んでもらうことも大事です。学んでもらったら実践するということが次に大事になっていくと思います。そうすることで、以前防犯教室で行った学童でも2度、3度と防犯教室を開催することができると思っています。実践することの大切さを伝える工夫を考えていきたいと思っています。

3つ目が、防犯知識を深めるということです。防犯意識を深めるためには、まずは防犯知識や現代の犯罪事情について学ぶことが大切だと思います。実際、防犯教室の質問で、子供たちから思わぬところを突かれて困ったこともあります。そのため、防犯に関する本を読んだり、DVD の鑑賞会を部内で開いたり、防犯知識が身に付いたら、マインドマップをして復習するという仕組みを取り入れていきたいと思います。

そんな中、若い世代に防犯ボランティアに関心を 持って活動してもらう仕組みが必要だと思っていま す。これからも私たちは若い発想を生み出し、若い 私たちだからこそできることを考えていき、私たち の元気を福岡の元気に変えていけるよう頑張ってい きたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



質疑応答

●質問 非常に若いエネルギーを感じたのですが、若い方がななくま元気にするっ隊に入ってくるきっかけ、モチベーションはどんなところから立ち上がってきましたか。

〇回答 まず新入学生に対しては、入学のときにボランティアにはこういうのがありますという冊子が配られるので、それを見て防犯に興味を持ってくれた学生が、私たちに連絡を取ってくれるというパターンもありますし、新入生の歓迎の時期になると学内でブースを設けて、防犯の楽しさを、動画など見せて興味を持ってもらうように工夫をして、入ってもらったら楽しいイベントをして、まず仲間づくりからしていくことが大事だなと思っています。

●質問 先ほど次世代につなげるということで、若い世代に興味を持ってもらう工夫をしていこうという話をしていましたが、若い世代への工夫としてどういったことを考えているのかということがあれば教えてください。

〇回答 「1回でいいから、まず参加してみて」と言うことをきっかけに呼び掛けています。強制的にとかではなくて、1回試してみたらという感じで参加してもらって、そのあとに一緒にごはんを食べに行ったりして仲良くなっていくことから始めています。

●質問 他のことをやっていて興味があるのかもしれないけれどなかなか参加できない、そもそも参

加をしてみようと思ってない学生もいると思います。そういった学生に興味を持ってもらうために工 夫していることはありますか。

〇回答 学内でボランティアの結果報告会とかを開催して、ボランティアのよさを学生たちに伝えるような工夫しています。